

【大子町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会投信『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』（令和3年1月）等を踏まえ、大子町では目指す学びの姿を「児童生徒を中心に据えた学び」とする。具体的には、ICT端末を活用することで、児童生徒が自ら課題を設定し、協働的な学びの中で課題を解決することができる主体的・対話的で深い学びができることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

大子町では、GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末が整備され、授業や家庭学習での活用が進んでいる。その結果、多くの児童生徒が端末を使いこなし、情報活用能力が向上している。また、教職員対象のICT研修を年数回実施することで、授業におけるICT活用スキルも向上傾向にある。

しかし、教職員間の端末活用能力には差があり、一部の教職員は基本的な操作に不安を感じている。1人1台端末の利活用をより一層進めていくには端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められると考えている。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

- 教職員向けに、ICT端末の活用に関する研修会を実施することで、児童生徒に個別最適な学びの提供ができるよう能力育成を図る
- 1人1台端末を用いてクラウド共有ツールや教育向けのサービスを活用することで、授業において児童生徒が協働的に課題解決する場면을数多く作ることを目指す。

なお、主な利活用方策としては、上記2点を計画しているが、これらの他に、1人1台端末を利用した、日常的に利活用するための取り組みや不登校児童生徒や外国人児童生徒、特別な支援を要する児童生徒なども含む学びの保障に向けた取組も検討し、改善していく予定である。